

## 水道水の放射性物質測定

国の原子力災害現地対策本部が主体となり、いわき市水道局水質管理センターにて、いわき市内の浄水場の水道水を対象に、ゲルマニウム半導体検出器による放射性物質の測定を行っています。



## 定時降下物のモニタリング

福島工業高等専門学校と連携し、定時測定（24時間採取）及び月間測定（1ヶ月間の継続採取）により、地表に落下する定時降下物を採取し、NaIシンチレーター検出器による放射性物質の測定を行っています。

※定時降下物は、地上に設置した採取器を用いて、地表に落下する降下物（粉じん、雨水等）を採取し、その試料から放出されるガンマ線のエネルギーとその量から、試料に含まれる放射性物質の種類と放射能の強さを測定したものです。



①採取場所  
(福島高専機械工学科棟屋上)



②【定時測定】  
純水を5リットル入れ、24時間採取  
【月間測定】  
純水を5リットル入れ、1ヶ月間採取



③日立アロカメディカル  
(CAN-OSP-NAI)にて  
【定時測定】6時間測定  
【月間測定】12時間測定

## What about

### 見せます! いわき菜園

農作物を育てる喜びを感じてもらうために、NPO法人シニア人材倶楽部の協力を得て作った共同菜園です。豊富な栽培知識をもつ佐々木園長のもと、農業未経験だった落語家さんたちが野菜づくりにトライします。Facebookページでは、野菜の成長記録がご覧いただけます。



## What about

### 見せます! いわき農家

落語家さんたちが、いわきの農家に突撃取材。農作物をどのように作り、どんな想いで出荷しているのかに迫りながら、生活者の目線から、いわき農作物の「今」を見える化するプロジェクトです。日々懸命に農作業に励む農家さんの様子や、農業に対する熱い想いなどを、楽しく分かりやすい動画コンテンツでお届けします。是非ご覧ください!



いわき農作物の透明性を高め、安全・安心を消費者の皆さまご自身に判断していただくため、スタートした「いわき農作物見える化プロジェクト」。

本市では、数値では表せない農家の想いや取り組みを分かりやすく発信するため、「見せます!いわき情報局」同プロジェクト特別委員として、柳家一琴さんをはじめとする落語家4人衆に委嘱状を交付しました。

これまで農業とはほとんど縁のなかった彼らが、いわき農作物の「今」に迫ります。彼らが挑戦する、農作業の数々にもご注目ください。

※詳しくは「見せます!いわき情報局」

<http://misemasu-iwaki.jp>

## 特別委員プロフィール



リーダー役  
やなぎや いっきん  
**柳家 一琴**  
1967.6.28生まれ  
大阪府出身



ミステリアス&クール  
はやしや ひこまる  
**林家 彦丸**  
1982.12.1生まれ  
東京都出身



軽やかなフットワーク  
やなぎや こたろう  
**柳家小太郎**  
1979.6.14生まれ  
神奈川県出身



しっかり者  
しゅんぶうていしょうたろう  
**春風亭正太郎**  
1981.8.23生まれ  
東京都出身

いわき市 農林水産部 農政水産課  
〒970-8686 福島県いわき市平字梅本 21  
TEL 0246-22-7471 FAX 0246-35-0777